

履 歴 書					写 真 貼 付
ふりがな 氏 名		男・女	生年月日	年 月 日生 (歳)	
現住所	〒 - Tel () -			本籍地	都道府県
学 歴 (学位・称号等)					
年 月	事 項				
職 歴 (職名・地位・担当科目等)					
年 月 年月～年月	事 項				
学会及び社会における活動					
年 月 年月～年月	事 項				
賞 罰					
年 月					
平成 年 月 日			上記のとおり相違ありません。		
			氏 名		印

教育研究業績書

年 月 日

氏名

印

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
1 教育方法の実践例		
2 作成した教科書, 教材		
3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価		
4 実務家教員についての特記事項		
5 その他		
職務上の実績に関する事項	年 月 日	概 要
1 資格, 免許		
2 特許等		
3 実務家教員についての特記事項		
4 その他		

著書，学術論文等の名称	単著， 共著の別	発行又は発表 の年月	発行所，発表雑誌等又は 発表学会等の名称	概 要
(著書) 1 2 3 4 5 : : : :				
(学術論文) 1 2 3 4 5 : : : :				
(その他) 1 2 3 4 5 : : : :				

(注)

- 1 この書類は，担当授業科目等に関連する教育上の能力に関する事項，職務上の実績に関する事項及び主要な著書，学術論文等（発行又は発表が予定されているものを含む。）について作成すること。
- 2 「教育上の能力に関する事項」の「5その他」欄には，1から4に該当するもの以外の事項について幅広く記入すること。
- 3 「職務上の実績に関する事項」の「4その他」欄には，1から3に該当するもの以外の事項について幅広く記入すること。
- 4 「著書，学術論文等の名称」の欄には，著書，学術論文及びその他の順に，それぞれ年月順に，番号を付して記入すること。
- 5 「概要」の欄には，教育上の能力に関する事項，職務上の実績に関する事項及び著書，学術論文等の概要について，教育上の能力に関する事項の各欄，職務上の実績に関する事項及び各著書，各学術論文等ごとに少なくとも200字で具体的に記入すること。
 なお，著書，学術論文等が共著の場合は，担当部分及び頁数を明記し，また，本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書，学術論文等に記載された順に記入すること。
- 6 「氏名」の欄の印は，本人の署名をもって代えることができること。

教育研究業績書の記入要領

〔教育上の能力に関する事項〕

1 教育方法の実践例

- ・優れた教育方法の実践例、マルチメディア機器を活用した授業方法、学生の授業外における学習促進のための取り組み、講義内容の web 上での公開 等

2 作成した教科書、教材

- ・作成した教科書、教材、講義で教科書として使用している著書、教材等の概要（後の「著書、学術論文」との重複も可。その場合、「(再掲)」と表示）

3 当該教員の教育上の能力に関する大学等の評価

- ・各大学での自己点検・評価の一環として、教育面で高い評価を受けた事実（その事由と評価内容）
- ・採用決定の際等における教育上の能力に関する評価
- ・学生による授業評価、教員同士の相互評価等をまとめたもの
- ・学外の評価機関等が行った評価
- ・上記以外で、学長、学部長、学内諸機関等が行った評価（客観性を持ったものについて記載） 等

4 実務家教員についての特記事項

- ・大学から受け入れた実習生に対する指導歴（看護・福祉実習、企業実習等）
- ・企業内教育、大学公開講座、社会教育講座の講師としての講義等の概要
- ・その他、所属機関や関係機関等において行った講義、講習、職員・関係者等に対する指導、海外等における留学、調査研究経験等を広く記載してください。

5 その他

- ・大学教育改善に関する団体等での活動の概要
- ・教育実績に対する受賞歴 等

※上記にとらわれず、積極的に記載してください。

〔職務上の実績に関する事項〕

1 資格、免許

資格について、担当する教育の内容に関するものなど、特に審査に関連すると思われるものについて記載してください。

2 特許等

本人の担当する教育内容等に関連した事項について記載してください。

3 実務家教員についての特記事項

実務経験の記載方法については、「職歴」欄に記載した事項を中心に、担当する授業科目に対応した下記の事項等を参考に記載してください。

- ① 従事した期間
- ② 職務の内容（どのような職務について、どのような役割を果たしたか）
- ③ 成果、結果

- 企業、官公庁等の研究者の場合
 - ・開発した新製品・製法、作物等の新品種などの概要
 - ・大学との共同研究による研究実績がある場合、その概要、成果、当該研究者の役割
- その他、企業・団体等関係者
 - ・国際援助・開発、先端技術、国際金融等高度に専門的な実務に従事した実績
- 情報技術者関係の場合
 - ・コンピュータに係る職務歴（職務上のコンピュータ活用法、ソフト・システム開発歴）
- マスコミ関係者の場合
 - ・執筆した記事の概要
 - ・作成した番組の概要
- 医師や看護師等医療技術者の場合
 - ・症例研究会での発表等の活動
- 福祉その他社会的活動の関係者の場合
 - ・参加した活動や団体の名称、活動内容・期間、本人の当該活動における地位
- スポーツ等実技関係者の場合
 - ・指導者としての経歴・実績・資格
- 芸術関係者の場合
 - ・作品の概要
- 博物館、美術館等関係者の場合
 - ・担当した展覧会の概要
 - ・執筆・監修した展覧会図録の概要
- その他全般を通じて

4 その他

1 から 3 に該当するもの以外の事項について幅広く記載してください。

〔著書、学術論文等に関する事項〕

- 1 「著書、学術論文等の名称」の欄については、著書、学術論文及びその他の順に適切に区分し、年月日順（過去→現在）に記入し、各区分ごとに番号を付してください。
著書等は、過去5年程度のものを中心に、主要なものだけ記入してください。（実務家教員については、この限りではありません。）
- 2 「概要」の欄の記入に当たっては、それぞれの概要については頁数を明記し、簡潔に記入してください。
- 3 共著の場合は、本人の担当部分（概要及び掲載頁（P〇〇～P〇〇）を示してください。）を明記し、本人の氏名を含め著作者全員の氏名を当該著書、学術論文等に記載された順（例：編者△△△△、分担執筆〇〇〇〇、□□□□、××××）に記入してください。
なお、本人の担当部分を抽出するのが困難な場合は、その理由を明記してください。
また、筆頭論文である場合は、その旨明記してください。
- 4 「作曲」に係る業績については、出版の日付と発行所及び初演の日付と会場を記載してください。（再演については不要です。）
また、作品集を提出する場合は、別途1部用意してください。なお、作品集については返却が可能ですので、提出時にその旨申し出てください。